

## 5章・1節 微分係数と導関数

- ① 平均変化率                      ② 微分係数  
③ 導関数                            ④ 接線

組	番号	名前

1 次の□をうめなさい。☑

(1) 関数  $y=f(x)$  において、 $\frac{y\text{の変化量}}{x\text{の変化量}} = \frac{f(b)-f(a)}{b-a}$  を、 $x$  の値が  $a$  から  $b$  まで変化するときの、 $f(x)$  の□という。

(2)  $x$  の値が  $a$  から  $a+h$  まで変化する場合を考えると、 $f(x)$  の平均変化率は、 $\frac{f(\square)-f(\square)}{h}$  である。

この式で、 $h$  を限りなく0に近づけたときの極限值

$$\lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(a+h)-f(a)}{h}$$

を関数  $f(x)$  の  $x=a$  における□といい、□で表す。

2 次の□をうめなさい。☑

(1)  $n=1, 2, 3, \dots$  のとき  $(x^n)' = \square$

(2)  $c$  を定数とするとき  $(c)' = \square$

(3)  $\{kf(x)\}' = \square$  ( $k$  は定数)

(4)  $\{f(x)+g(x)\}' = \square$

(5)  $\{f(x)-g(x)\}' = \square$

3 次の間に答えなさい。☑

(1) 関数  $f(x)=3x^2$  において、 $x$  の値が次のように変化するときの平均変化率を求めなさい。

- ① 2 から4 まで  
② 2 から  $2+h$  まで

(2) (1)の②を用いて、関数  $f(x)=3x^2$  における微分係数  $f'(2)$  を求めなさい。

4 次の関数を微分しなさい。☑

(1)  $y=5x+4$

(2)  $y = -2x^2 + 3x - 5$

(3)  $y = x^3 + 5x^2 - x + 7$

(4)  $y = (x+3)(2x^2-1)$

(5)  $y = (2x+3)^2$

5 次の□をうめなさい。☑

曲線  $y=f(x)$  上の点  $(a, f(a))$  における接線の傾きは、その微分係数□に等しいから、点  $(a, f(a))$  における接線の方程式は

$$y - \square = \square(x - \square)$$

6  $f(x)=3x^2-8x+7$  について、次の間に答えなさい。☑

(1)  $x=1$  における微分係数  $f'(1)$  を求めなさい。

(2) 曲線  $y=f(x)$  上の点  $(1, 2)$  における接線の方程式を求めなさい。

## 5章・1節 微分係数と導関数

- ① 平均変化率                      ② 微分係数  
③ 導関数                            ④ 接線

組	番号	名前

1 次の□をうめなさい。 [知]

- (1) 関数  $y=f(x)$  において、 $\frac{y\text{の変化量}}{x\text{の変化量}}=\frac{f(b)-f(a)}{b-a}$  を、 $x$  の値が  $a$  から  $b$  まで変化するときの、 $f(x)$  の□平均変化率□という。
- (2)  $x$  の値が  $a$  から  $a+h$  まで変化する場合を考えると、 $f(x)$  の平均変化率は、 $\frac{f(\square a + h) - f(\square a)}{h}$  である。

この式で、 $h$  を限りなく0に近づけたときの極限值

$$\lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(a+h) - f(a)}{h}$$

を関数  $f(x)$  の  $x=a$  における□微分係数□といい、□ $f'(a)$ □で表す。

2 次の□をうめなさい。 [知]

- (1)  $n=1, 2, 3, \dots$  のとき  $(x^n)' = \square nx^{n-1}$
- (2)  $c$  を定数とするとき  $(c)' = \square 0$
- (3)  $\{kf(x)\}' = \square kf'(x)$  ( $k$  は定数)
- (4)  $\{f(x)+g(x)\}' = \square f'(x)+g'(x)$
- (5)  $\{f(x)-g(x)\}' = \square f'(x)-g'(x)$

3 次の間に答えなさい。 [技]

- (1) 関数  $f(x)=3x^2$  において、 $x$  の値が次のように変化するときの平均変化率を求めなさい。

- ① 2 から4 まで  
② 2 から  $2+h$  まで

[解] ①  $\frac{f(4)-f(2)}{4-2} = \frac{3 \times 4^2 - 3 \times 2^2}{4-2} = \frac{36}{2} = 18$

②  $\frac{f(2+h)-f(2)}{h} = \frac{3(2+h)^2 - 3 \times 2^2}{h}$   
 $= \frac{3(4+4h+h^2) - 3 \times 4}{h}$   
 $= \frac{h(12+3h)}{h}$   
 $= 12+3h$

- (2) (1)の②を用いて、関数  $f(x)=3x^2$  における微分係数  $f'(2)$  を求めなさい。

[解]  $f'(2) = \lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(2+h)-f(2)}{h} = \lim_{h \rightarrow 0} (12+3h) = 12$

4 次の関数を微分しなさい。 [技]

- (1)  $y=5x+4$

[解]  $y' = (5x+4)' = (5x)' + (4)' = 5(x)' + (4)' = 5 \times 1 + 0 = 5$

- (2)  $y = -2x^2 + 3x - 5$

[解]  $y' = (-2x^2 + 3x - 5)'$   
 $= -2(x^2)' + 3(x)' - (5)'$   
 $= -2 \times 2x + 3 \times 1 - 0$   
 $= -4x + 3$

- (3)  $y = x^3 + 5x^2 - x + 7$

[解]  $y' = (x^3 + 5x^2 - x + 7)'$   
 $= (x^3)' + 5(x^2)' - (x)' + (7)'$   
 $= 3x^2 + 5 \times 2x - 1 + 0$   
 $= 3x^2 + 10x - 1$

- (4)  $y = (x+3)(2x^2-1)$

[解]  $y = (x+3)(2x^2-1) = 2x^3 + 6x^2 - x - 3$  であるから  
 $y' = (2x^3 + 6x^2 - x - 3)'$   
 $= 2(x^3)' + 6(x^2)' - (x)' - (3)'$   
 $= 2 \times 3x^2 + 6 \times 2x - 1 - 0$   
 $= 6x^2 + 12x - 1$

- (5)  $y = (2x+3)^2$

[解]  $y = (2x+3)^2 = 4x^2 + 12x + 9$  であるから  
 $y' = (4x^2 + 12x + 9)'$   
 $= 4(x^2)' + 12(x)' + (9)'$   
 $= 4 \times 2x + 12 \times 1 + 0$   
 $= 8x + 12$

5 次の□をうめなさい。 [知]

曲線  $y=f(x)$  上の点  $(a, f(a))$  における接線の傾きは、その微分係数□ $f'(a)$ □に等しいから、点  $(a, f(a))$  における接線の方程式は

$$y - \square f(a) = \square f'(a) (x - \square a)$$

6  $f(x)=3x^2-8x+7$  について、次の間に答えなさい。 [技]

- (1)  $x=1$  における微分係数  $f'(1)$  を求めなさい。

[解]  $f'(x) = 3(x^2)' - 8(x)' + (7)'$   
 $= 3 \times 2x - 8 \times 1 + 0$   
 $= 6x - 8$

よって  $f'(1) = 6 \times 1 - 8 = -2$

- (2) 曲線  $y=f(x)$  上の点  $(1, 2)$  における接線の方程式を求めなさい。

[解] 点  $(1, 2)$  における接線の傾きは、(1)から  $-2$  である。

よって、接線の方程式は  $y-2 = -2(x-1)$

すなわち

$$y = -2x + 4$$